



新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。

謹白



項目名

特異的Ig-E -5 グリアジン(略号：f416) (依頼コードNo. 1636)

カシューナッツ(略号：f202) (依頼コードNo. 1637)

マラセチア(属)(略号：m227) (依頼コードNo. 1638)

受託開始日 2010年10月4日(月) 受付分より

受託要領

項目名	-5グリアジン	カシューナッツ	マラセチア(属)
依頼コードNo.	1636	1637	1638
検体必要量	1種につき血清 0.2mℓ		
検体の保存方法	冷蔵		
採取容器	B-1 S-1		
測定方法	FEIA法		
基準値	0.34以下		
単位	U _A /mℓ		
報告桁	小数第2位		
報告日数	2~3日		
検査実施料/判断料	110点/免疫学的検査144点		

裏面に続きます

-5 グリアジン (略号 : f 4 1 6)

-5 グリアジンは小麦の不溶性成分の一つです。

-5 グリアジン特異的 Ig-E は小麦アレルギー群においては84%が陽性を示し、非小麦アレルギー群での陽性率は27%にとどまったと報告されています(臨床的感度84%、臨床的特異度73%)。また、原因食品摂取後の運動によって惹起される食物依存性運動誘発性アナフィラキシー(FDEIA)の一つであるWDEIA(小麦依存性運動誘発アナフィラキシー)では、臨床的感度および臨床的特異度はそれぞれ80%、68%であり、WDEIAの診断における既存のf4小麦およびf79グルテンの検査結果を大きく改善することが報告されています。

これらの結果から、-5 グリアジン特異的 Ig-E の測定は、f4小麦に対する特異的 Ig-E 測定と併用することで、小麦アレルギーの診断精度を向上すると期待されます。

カシューナッツ (略号 : f 2 0 2)

カシューナッツは、炒って食用にする他、中華料理、パン、お菓子(ケーキ、クッキー、チョコレート等)、サラダのトッピング等に使用されています。

カシューナッツによるアレルギー症状は、舌のしびれ、喉の違和感、嘔吐等の口腔アレルギー症候群のみならず、アナフィラキシーショック等の重篤な反応を示すことが知られています。

既存の特異的 Ig-E のナッツ類(f256クルミ、f17ハシバミ(ヘーゼルナッツ)、f20アーモンド等)とともに、より幅広くナッツ類によるアレルギー患者の原因検索が可能になります。

マラセチア (属) (略号 : m 2 2 7)

抗原性(Ig-E抗体反応性)の異なる *Malassezia sympodialis*、*M. restricta*、*M. globosa* の3種マラセチア属の抽出液を混合したものを抗原として固相化したものです。

ヒトおよび動物の皮膚常在菌(成人の80%が保有)でありアトピー性皮膚炎との関連が報告されています。